

箸の持ち方に表れる、成長の軌跡。

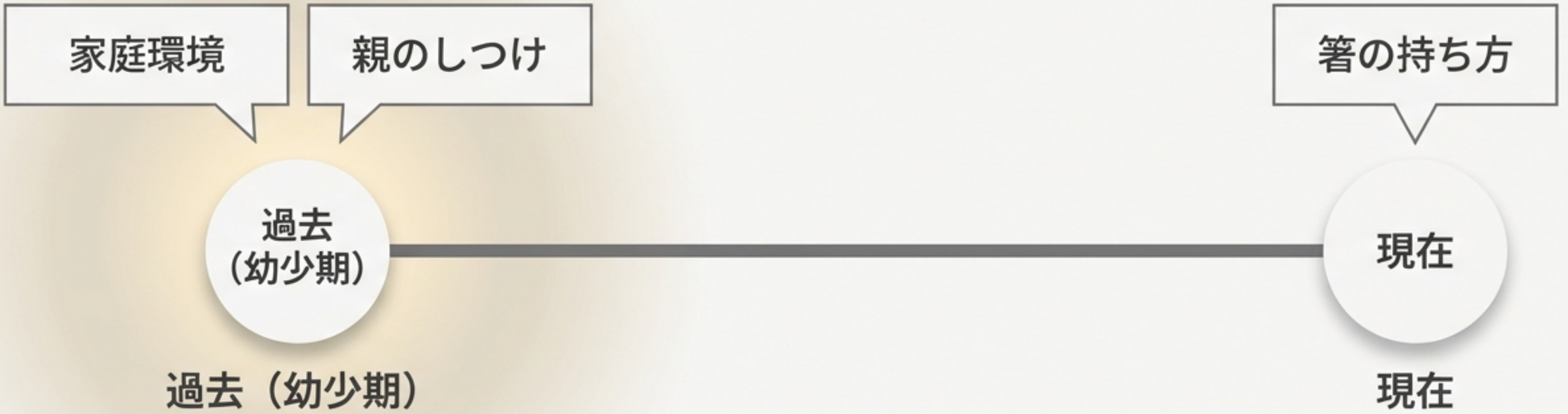
誤りと向き合う姿勢が、未来のポテンシャルを決める。

PHOENIX愛知

Gemini Notebook

「箸の持ち方には、育ちが表れる」の一般的な解釈

多くの人は、過去の「環境」が現在の「習慣」を作っていると考えます。

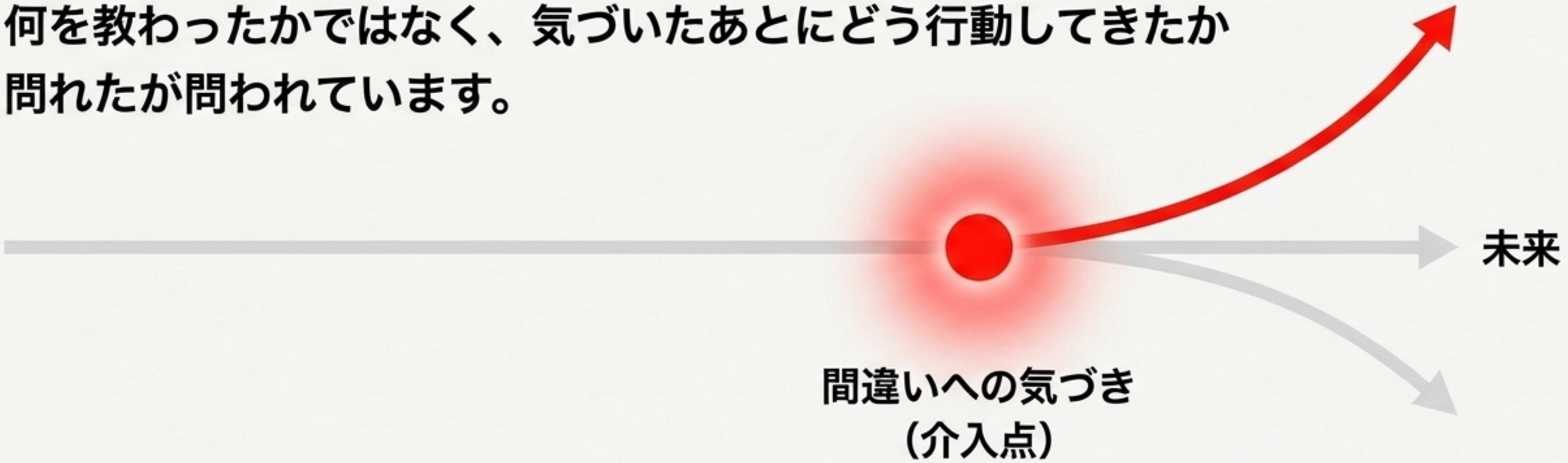


Gemini Notebook

興味深いのは「そこから先」の行動である

本当に育ちが表れるのは、自分の習慣が「間違っている」と気づいたあとの振る舞いです。

何を教わったかではなく、気づいたあとにどう行動してきたか
問れたが問われています。



Gemini Notebook

誤りとの向き合い方：4つの類型

人は間違いに直面したとき、「自己修正の姿勢」によって4つに分かれます。



Gemini Notebook

「気づくこと」と「直すこと」はまったく別である

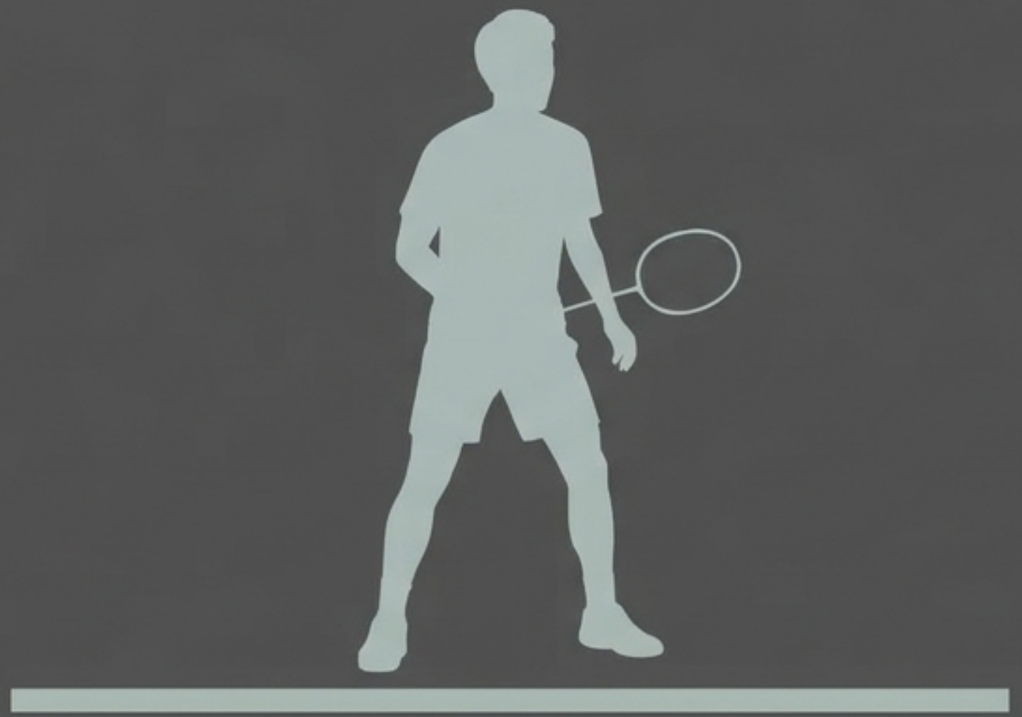
認識から行動への移行には、心理的な高いハードルが存在します。



Gemini Notebook

スポーツの指導現場で繰り返される光景

問題は、間違えていることではありません。
間違いに気づいたあと、どう動くかです。



指摘されても変わらない軌道

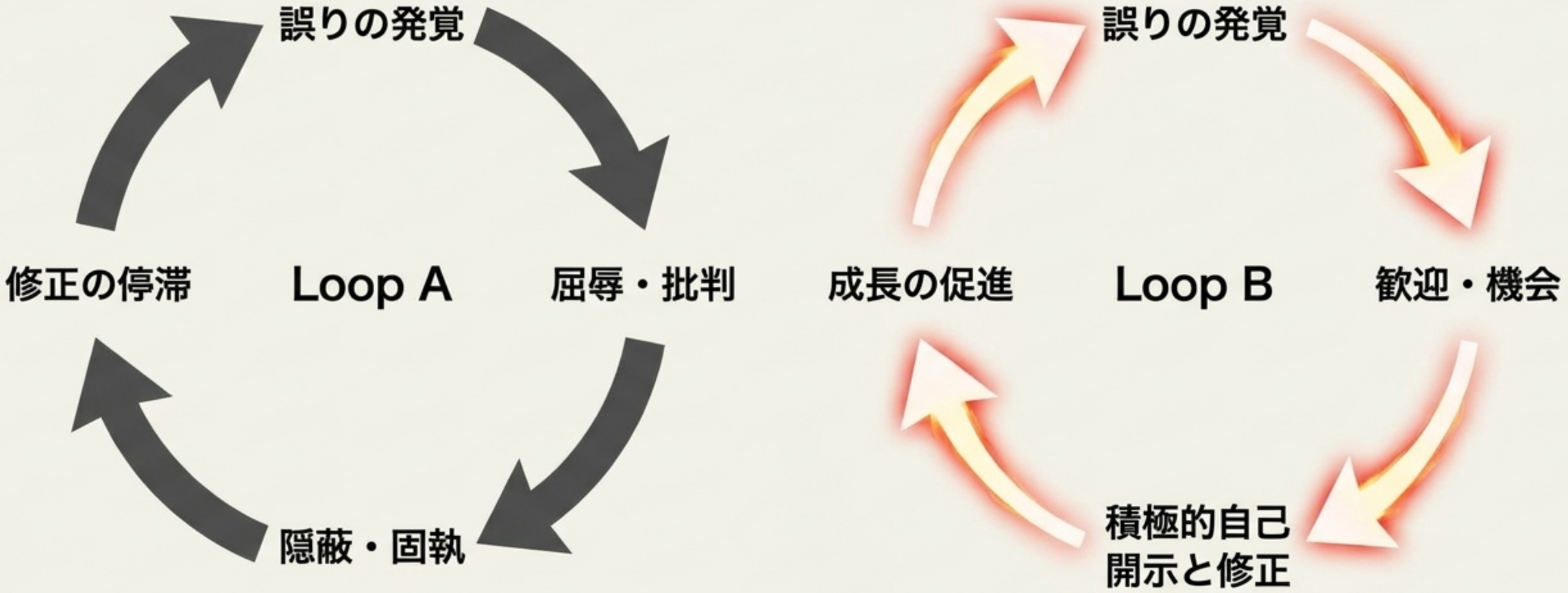


一度の指摘から自らを見直し、修正する軌道

Gemini Notebook

「誤りへの姿勢」を形成する環境要因

大人になってからの自己修正能力は、過去の環境のフィードバックによって形成されています。



Gemini Notebook

筆者自身の気づき：評価の罠

間違いに対して「良い・悪い」のジャッジをしてしまう
我々自身のバイアスこそが、成長を阻害する罠なのです。



評価ではなく、
ただの事実（機会）

Gemini Notebook

誤りの再定義

誤りを指摘されることは、決してあなたの価値を否定するものではありません。
それは、新しい軌道を描き始めるための起点（ピボット）に過ぎないのです。

Before

これまでの認識

指摘されること = 成長を妨げる出来事



After

真の認識

指摘されること = 誤りを修正する機会



Gemini Notebook

成長の鍵は、海面下に存在する

その人が今、何を間違えているかよりも、自分の誤りとどう向き合ってきたか。
そこにこそ、将来の成長幅を予測する最大のヒントがあります。



今、何を間違えているか
(現在の技術・知識の不足)

自分の誤りとどう向き合ってきたか
(自己修正のマインドセット)

Gemini Notebook

技術を超えた、人間的成長の軌道を共に。

単なるプレイの知識にとどまらず、
学習姿勢そのものをアップデートする。

Phoenix Red

Phoenix Red

PHOENIX愛知（バドミントン教室） / 豊田市・岡崎市

phoenix-aichi.net

Gemini Notebook